

IPアドレス・AS番号維持料 見直しに関するご説明

2025年1月

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター IP事業部



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

▶▶▶ 本日のご説明について

- IPアドレス・AS番号維持料を2026年度より見直します
 - 2026年4月ご請求、5月末日お支払い期限分から見直します
- IPアドレス・AS番号維持料見直しの背景、IPアドレス事業の今後の見込みをあわせてご説明します

IPアドレス・AS番号維持料見直しの概要

- ・ 維持料算出式(以下)に変更はありません。算出式中の各種パラメータを変更します

$$\text{Annual Fee} = (\text{Base Fee}) \times (\text{Bit Factor}) (\text{Address Bits})$$

- ・ IPv6の分配を受けている場合の取り扱い、請求・お支払方法に変更はありません
- ・ 2個以上のAS番号割り当てを受けている場合に、2個を超えた分についてAS番号維持料をご請求します
- ・ ご請求額が一定基準を超えて増える組織へは、2026年度に限り経過措置を設けます
- ・ JPNIC正会員である組織への減額措置を拡充します

以降のスライドでご説明します

▶▶▶ 今回のIPアドレス・AS番号維持料見直しの背景について①

IPアドレス・AS番号維持料は 2012年に見直しを行い、10年以上が経過しました。JPNICのIPアドレス事業の周辺環境にも変化が起きており、見直しが必要な状況です。



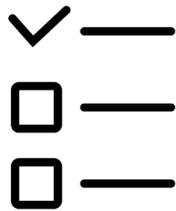
各種費用の上昇への対応

APNICでは2023年度より段階的に料金改定を行っています。これに伴い、JPNICへの請求金額が大幅に上昇しました。また、システム保守料、人件費といった各種費用も上昇してきています



安定した事業継続の必要性

2012年の見直し以降、業務の効率化・コスト削減を継続し事業運営を行ってきました。必要最小限以下の体制で業務を進めており、今後のIPアドレス事業の運営への影響が懸念される状況になっています

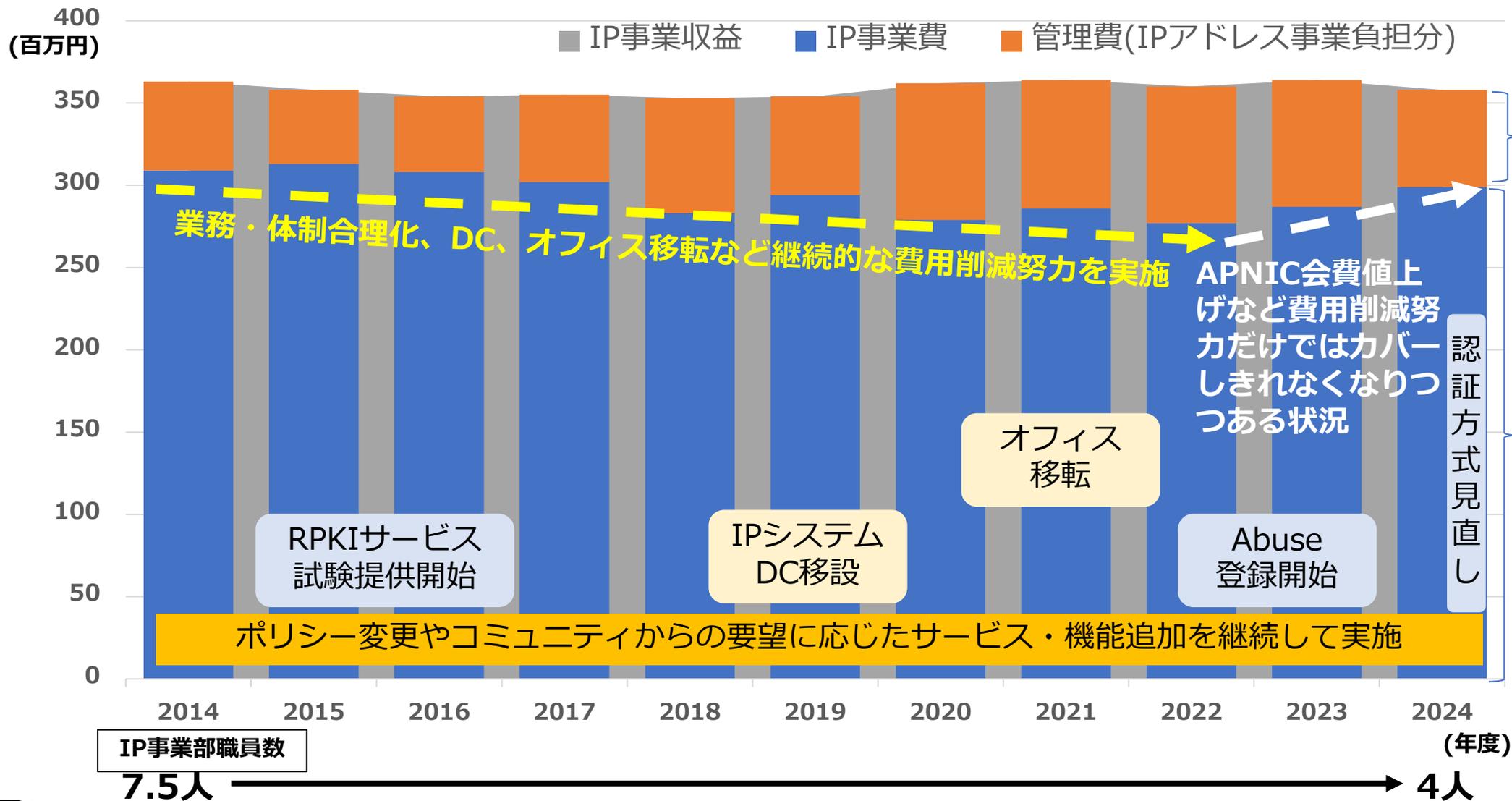


サービスの継続提供と拡充の必要性

Abuse窓口(不正利用に対応する連絡窓口)の追加、RPKIシステムの提供、認証方式の見直しなど、機能強化を進めてきました。今後も、IPアドレス・AS番号の登録管理システム(IPレジストリシステム)やRPKIシステムの高度化、堅牢化必要な状況です。さらに、運用開始から20年を経過したIPレジストリシステムでは、セキュリティ、可用性向上を目指して、クラウドへの移行と今後のサービス拡充を見据えた改修を計画しています

今回のIPアドレス・AS番号維持料見直しの背景について②

2012年度以降のIPアドレス事業支出推移



管理部門の人件費、オフィス家賃など、IPアドレス事業の遂行のために**間接的**に必要な費用

職員数に応じて基盤整備事業と按分で負担

IPアドレス事業の遂行に必要な各種**直接**費用

今回のIPアドレス・AS番号維持料見直しの背景について③

■ APNICでの料金見直しについて(参考情報)

- 2023年より段階的に会費の見直しを行っています
- 2027年までは毎年見直し実施、2028年以降もAPNIC理事会が実施見送りを判断しない限り、基本料金を年4.75%値上げ予定

Annual Fee = (Base Fee) x (Bit Factor) ^(Address Bits)				
Annual Fee Parameters	2023 - 2024	2025	2026	2027
Base Fee	AUD 1,180	AUD 1,236	AUD 1,295	AUD 1,356
Bit Factor	1.31	1.315	1.320	1.325
Address Bits	log ₂ (Addresses) - (offset)			
Offset for IPv4	8	8	8	8
Offset for IPv6	22	22	22	22

<https://blog.apnic.net/2023/09/14/apnic-fees-to-increase-from-2025/>

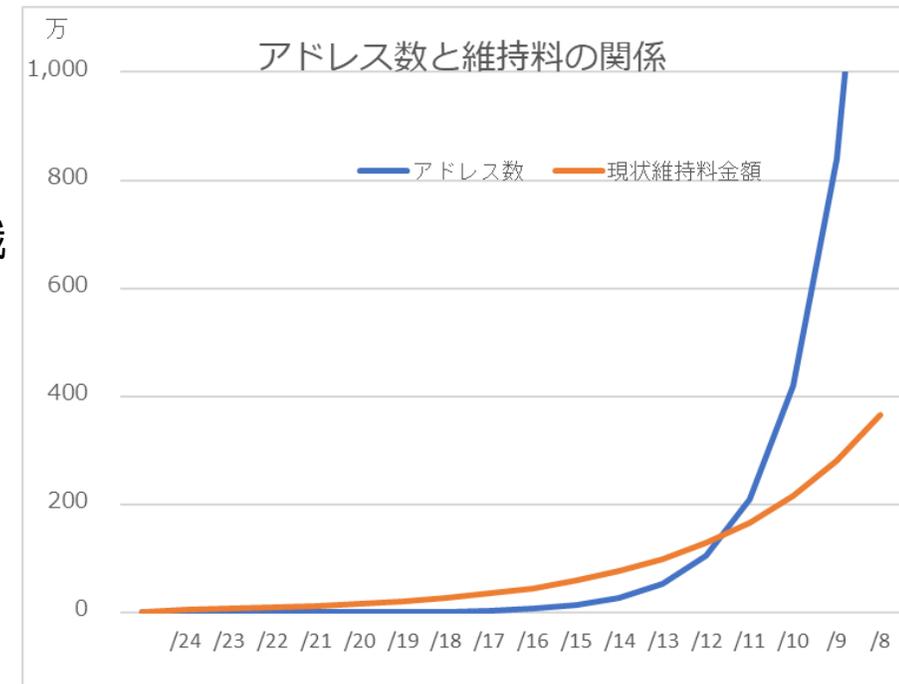
<https://www.apnic.net/about-apnic/corporate-documents/documents/membership/member-fee-schedule/>

▶▶▶ JPNICのIPアドレス・AS番号に関する料金について

■ JPNICでは以下の考え方のもと、維持料を設定しています

- IPアドレス事業に必要な費用を、IPアドレス維持料を主体として賄う
- 分配したIPアドレス・AS番号の数に応じて維持料をご負担いただく
 - 契約組織毎に最低料金(¥50,000(税抜))を設定
 - 分配を受けているIPアドレス数に応じて金額が増加
- IPアドレスの分配経緯を問わない料金体系
 - IPアドレス管理指定事業者、PIアドレス割り当て先組織ともに、同一の料金体系としています
- APNICとも大きく乖離しない料金体系

■ 今後もこの方針は変更ありません



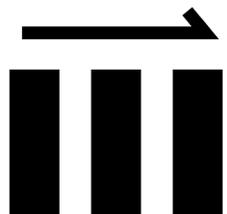
▶▶▶ IPアドレス・AS番号維持料見直しにあたっての考え方

IPアドレス・AS番号維持料の見直しにあたって、基本的な方針は以下の通りとしています。この方針に従って、以降のスライドでご説明する新たな維持料案を策定しました。



今後の見通しを踏まえた料金設定

改定後3~5年程度のIPアドレス事業における費用見通しを踏まえ、それを賄えるような内容とします



現行の算出式を踏襲

現状の維持料算出式を踏襲し、計算パラメータの見直しによってアドレス数毎の維持料金額を改定することとします



APNICの料金体系を意識したJPNICの料金体系

- ・原則としてAPNICと同じ算出式・パラメータ設定とし、今後のAPNICの料金改定にも追随出来るようにします
- ・ APNICと同様に段階的なパラメータ変更による改定とします

維持料見直し内容について



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

▶▶▶ 現在のIPアドレス・AS番号維持料算出方法

維持料算出式(税抜)

IPv4アドレス維持料 = $65000 \times 1.3^{(\log_2[\text{IPv4アドレスの総数}] - 9)}$

IPv6アドレス維持料 = $65000 \times 1.3^{(\log_2[/56 \text{の個数}] - 23)}$

IPv4とIPv6の分配を受けている場合の扱い

IPv4、IPv6で維持料をそれぞれ算出して、金額の高い方を採用

AS番号維持料

- ・ AS番号のみの割り当ての場合、最低料金(50,000円(税抜))を請求
- ・ 上記以外は、IPアドレス維持料のお支払いでAS番号維持料を免除

▶▶▶ 見直し後のIPアドレス・AS番号維持料算出方法

維持料算出式(税抜) (一部変更)

IPv4アドレス維持料 = 基本料金 × 係数 $(\log_2[\text{IPv4アドレスの総数}] - 8)$

IPv6アドレス維持料 = 基本料金 × 係数 $(\log_2[/56 \text{の個数}] - 22)$

※パラメータの変更、年度ごとに「**基本料金**」「**係数**」を設定します

IPv4とIPv6の分配を受けている場合の扱い (変更なし)

IPv4、IPv6で維持料をそれぞれ算出して、金額の高い方を採用

AS番号維持料 (一部変更)

- AS番号のみの割り当ての場合、最低料金を請求
- 2個目を超えるAS番号割り当てには、2個を超えた分についてAS番号維持料(10,000円・税抜)を請求
- 上記以外は、IPアドレス維持料のお支払いでAS番号維持料を免除

▶▶▶ パラメータの一部変更、「基本料金」「係数」について

維持料算出式

$$\text{Annual Fee} = (\text{Base Fee}) \times (\text{Bit Factor})^{\text{(Address Bits)}}$$

基本料金の値
ビット係数
課金保有アドレス単位

上記算出式に当てはめるパラメータをAPNICに合わせて3カ年で下記のように変動させることとします

	現状		2026年度	2027	2028	変更のポイント
Base Fee 基本料金の値	65,000	→	55,000	56,100	57,222	最小アドレス数(/24)で¥50,000を、¥55,000に変更し2028年度まで毎年2%ずつ上昇させる
Bit Factor ビット係数	1.3	→	1.32	1.325	1.325	APNICの数値に合わせてます
Address Bit 課金保有 アドレス単位	$\log_2(\text{address}) - (\text{offset})$		$\log_2(\text{address}) - (\text{offset})$			現状と同じ変更ありません
offset アドレス 計算単位	IPv4=9 IPv6=23	→	IPv4=8 IPv6=22			APNICの数値に合わせてます

見直し後のIPアドレス・AS番号維持料について

	現状(円)	見直し案(円)					
		2026 (現状との差額)		2027 (現状との差額)		2028 (現状との差額)	
/24	55,000	60,500	(5,500)	61,710	(6,710)	62,944	(7,944)
/23	71,500	79,860	(8,360)	81,766	(10,266)	83,401	(11,901)
/22	92,950	105,415	(12,465)	108,340	(15,390)	110,506	(17,556)
/20	157,086	183,675	(26,589)	190,204	(33,118)	194,008	(36,922)
/18	265,474	320,036	(54,562)	333,926	(68,452)	340,605	(75,131)
/16	448,652	557,631	(108,979)	586,250	(137,598)	597,975	(149,323)
/15	583,247	736,073	(152,826)	776,781	(193,534)	792,316	(209,069)
/14	758,222	971,616	(213,394)	1,029,234	(271,012)	1,049,819	(291,597)
/13	985,688	1,282,533	(296,845)	1,363,736	(378,048)	1,391,010	(405,322)

上記に記載のないアドレス数の場合の維持料額については、割り振り・割り当てアドレス数を明記のうえ、IPアドレス担当(電子メール : ip-service@nir.nic.ad.jp)までお問い合わせください

▶▶▶ ご請求額が急増するみなさまへの経過措置(2026年度のみ)

- ご請求金額が特に大きく増加する場合に、2026年度のご請求に限り経過措置を設けます
 - 値上げ率に上限を設けて、お支払額の急激な増加を抑えます

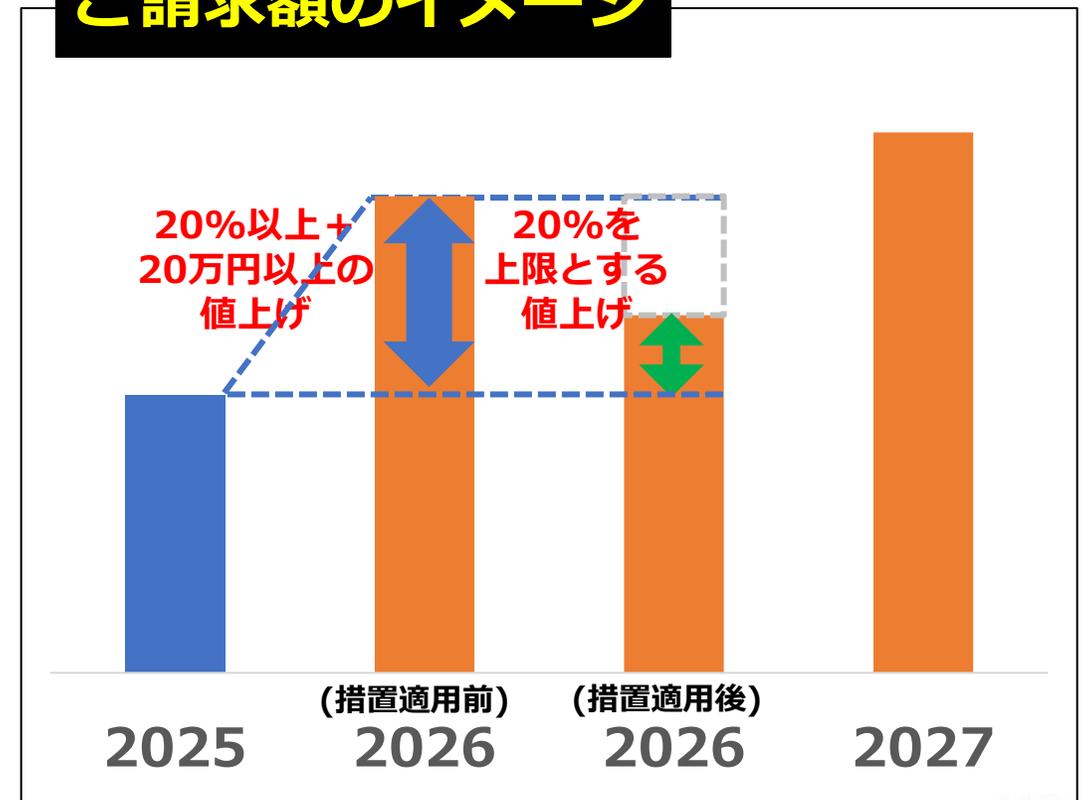
経過措置の対象

見直し後維持料(会員減額適用後)が、20%以上かつ20万円以上の値上げとなる組織

経過措置の内容

2026年度のご請求に限り、値上げ率を20%までとします

ご請求額のイメージ



▶▶▶ JPNIC正会員への維持料減額について

- **維持料見直し後も、JPNIC正会員への維持料減額は継続します**
 - 会費によりご支援いただくインターネット基盤整備事業での成果(認証技術、ルーティングセキュリティなど)は、IPアドレス事業においても活用されています
 - 一律10万円の減額から、会員種別に応じた減額へ変更します
 - 今後もより一層のご支援をお願いいたします

会員種別	現行	見直し後
S	¥100,000	¥500,000
A		¥375,000
B		¥200,000
C		¥125,000
D		¥100,000
非営利		
賛助	減額なし	減額なし

▶▶▶ 現行維持料・見直し後のIPアドレス・AS番号維持料の例①

■ 現行のIPアドレス・AS番号維持料 (金額は税込)

IPv4(/17)	IPv6(/32)※/56の総数	AS番号	維持料額
32,768	16,777,216	2個 64500, 65550	345,117円

IPv4維持料：345,117円(税込) IPv6維持料：92,950円(税込)

IPv4 IPv6

値上げ率	22.4%
値上げ額	77,331円

■ 見直し後のIPアドレス・AS番号維持料(いずれも税込)

2026年度	2026年度(経過措置適用)	2027年度	2028年度
422,448円 (+77,331円)	---	442,453円 (+97,336円)	451,302円 (+106,185円)

※カッコ内は、いずれも現行IPアドレス・AS番号維持料との差額

▶▶▶ 現行維持料・見直し後のIPアドレス・AS番号維持料の例②

■ 現行のIPアドレス・AS番号維持料 (金額は税込)

IPv4(/23)	IPv6(/32)※/56の総数	AS番号	維持料額
512	16,777,216	1個	92,950円
		64501	

IPv4維持料：71,500円(税込) IPv6維持料：92,950円(税込)

IPv4 IPv6

値上げ率	13.4%
値上げ額	12,465円

■ 見直し後のIPアドレス・AS番号維持料(いずれも税込)

2026年度	2026年度(経過措置適用)	2027年度	2028年度
105,415円 (+12,465円)	---	108,340円 (+15,390円)	110,506円 (+17,556円)

※カッコ内は、いずれも現行IPアドレス・AS番号維持料との差額

▶▶▶ 現行維持料・見直し後のIPアドレス・AS番号維持料の例③

■ 現行のIPアドレス・AS番号維持料 (金額は税込)

IPv4(/14)	IPv6(/31)※/56の総数	AS番号	維持料額
262,144	33,554,432	1個	758,222円
		64507	

IPv4維持料：758,222円(税込) IPv6維持料：120,835円(税込)

IPv4 IPv6

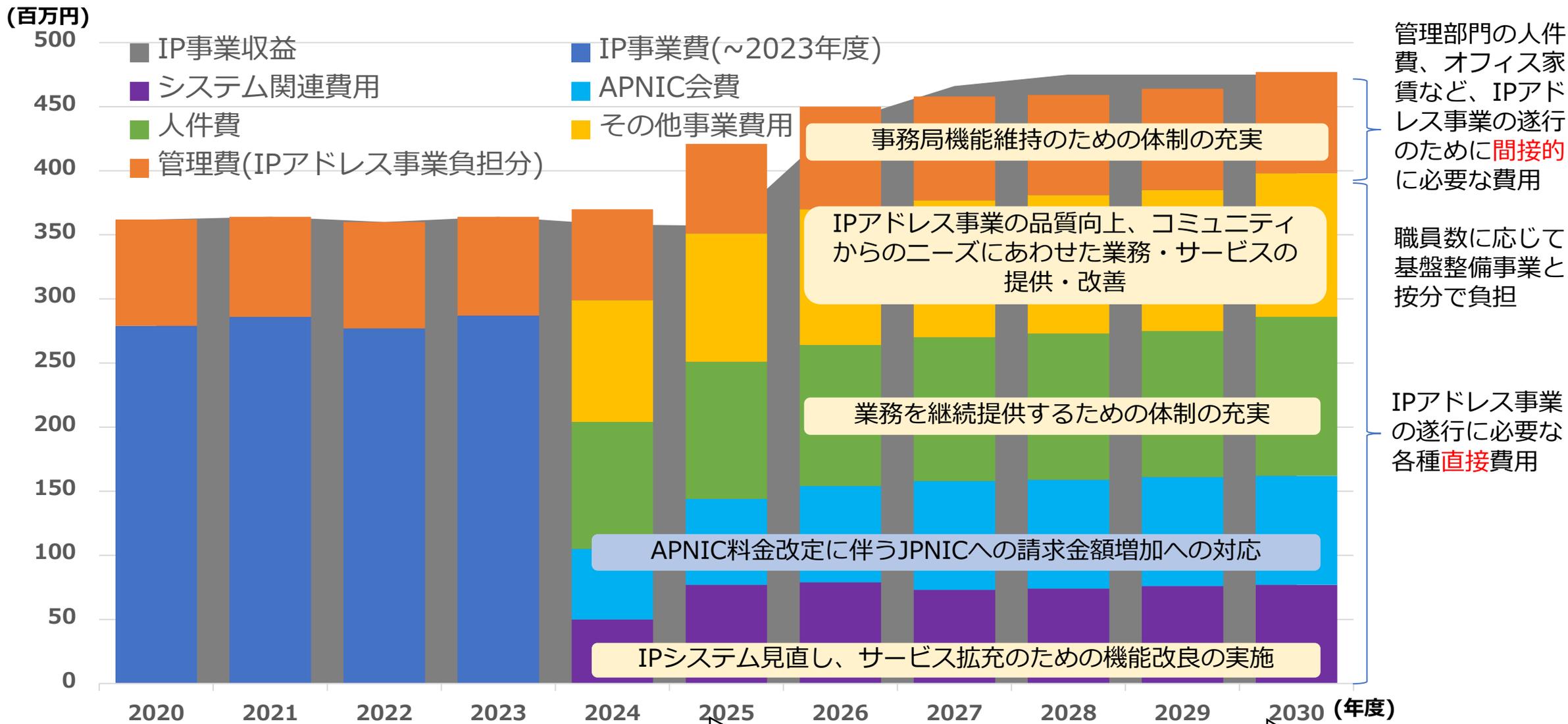
値上げ率	28.1%
値上げ額	213,394円

■ 見直し後のIPアドレス・AS番号維持料(いずれも税込)

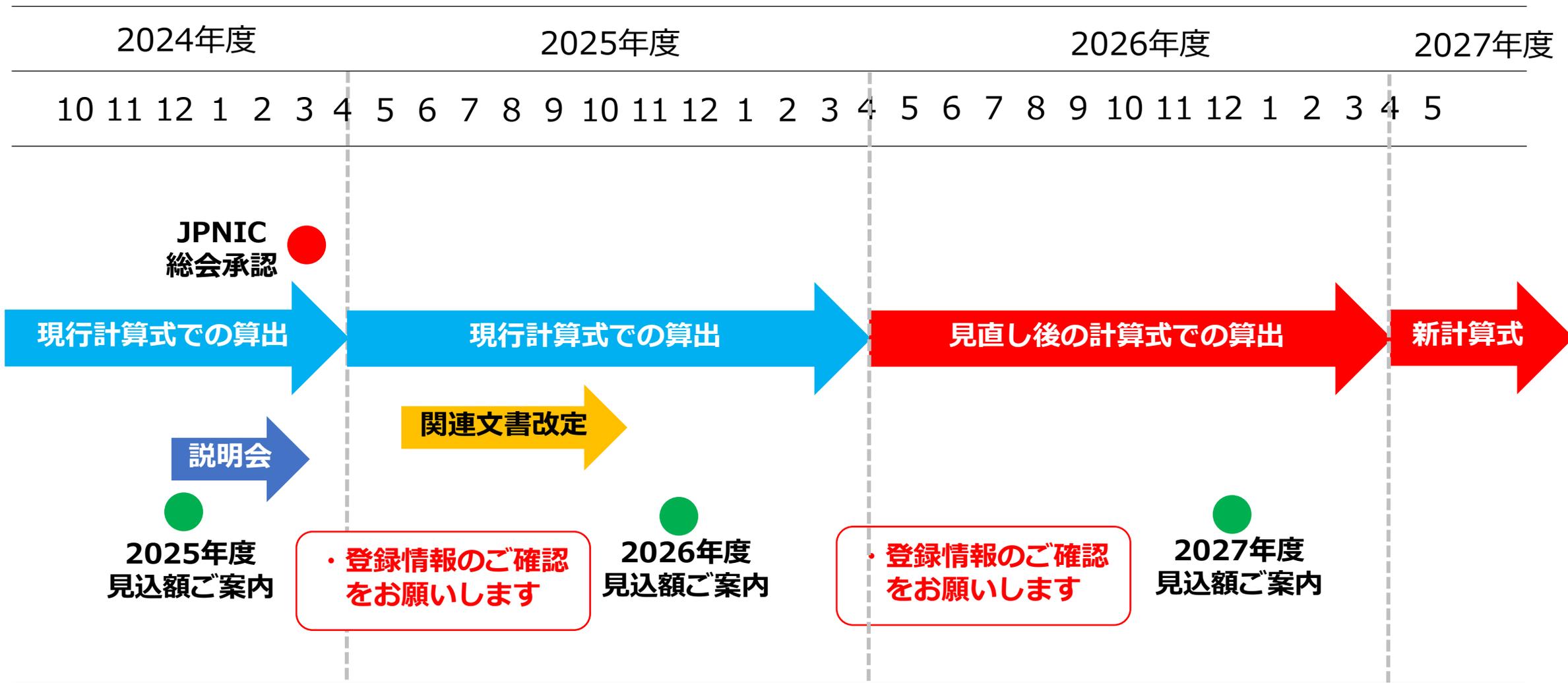
2026年度	2026年度(経過措置適用)	2027年度	2028年度
971,616円 (+213,394円)	909,866円 (+151,644円)	1,029,234円 (+271,012円)	1,049,819円 (+291,597円)

※カッコ内は、いずれも現行IPアドレス・AS番号維持料との差額

過去4年間の収益実績と2030年度までの収益見込み



今後について





**IPアドレス・AS番号維持料の見直しに
ご理解ご協力のほど
なにとぞよろしくお願ひ申し上げます**